

問1 近畿地方の産業構造において、文化財の存在が観光に与える影響を説明した次の文のうち、その因果関係を正しく説明しているものはどれですか。 (2014年 兵庫公立入試 類似)

1. 古都の景観や国宝などの文化財を保護・活用することで、国内外から観光目的の来訪者が集まり、宿泊利用においても観光客の比率を高めている。
2. 文化財の数が多い地域では、景観保護のために宿泊施設の建設が制限されるため、結果としてビジネス客の割合が上昇している。
3. 重要文化財が多い府県では製造業が衰退しているため、代わりにスキーや海水浴などのレジャー客を誘致することで観光目的の宿泊者を増やしている。
4. 歴史的資源の豊富さと観光目的の宿泊者割合には直接の関連はなく、交通網の整備状況のみが観光客の割合を決定している。

問2 近畿地方のある府県は、面積が地方内で最小であるにもかかわらず、工業製品出荷額が約16兆円に達しています。このような統計的特色が見られる背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2015年 富山県公立入試 類似)

1. 古くから商業の拠点として発展し、現在は阪神工業地帯の中核として多くの工場が集積しているため。
2. 広大な平野を利用した大規模な機械化農業が盛んで、農産物の加工業が発展しているため。
3. 豊かな森林資源を背景とした伝統的な木材産業が、現代の先端技術と結びついているため。
4. 県庁所在地以外の都市に人口が分散しており、各都市で特産品の製造が独立して行われているため。

問3 三重県東部に位置し、伊勢湾の南側を囲むように突き出した半島の名称を教えてください。この地域は海岸線が複雑に入り組んだ地形が発達しており、波が穏やかな入り江を利用して真珠やカキの養殖業が盛んに行われています。 (2026年 富山公立入試 類似)

1. 志摩半島
2. 津軽半島
3. 丹後半島
4. 薩摩半島

問4 兵庫県と京都府の境界付近にある山地から、大阪湾の沿岸部にかけての地形の変化を断面図で表した場合、その特徴を説明したものと最も適切なものはどれですか。 (2017年 群馬県公立入試 類似)

1. 北部に標高約900mに達する丹波高地や六甲山地があり、南部の大阪湾沿岸に向かって標高が低くなり平野が広がる形状
2. 中央部に巨大な盆地が広がり、その周囲を標高2000mを超える険しい山脈が取り囲んでいる形状
3. 全域にわたって標高の起伏がほとんど見られず、北部の海岸線から南部まで広大な平野が続いている形状
4. 北部の海岸線付近が最も標高が低く、南部に向かうにつれて急激に標高が上がり、大阪湾付近で最高峰に達する形状

問5 滋賀県の琵琶湖で水質保全活動が重要視されている理由について説明した文として、最も適切なものはどれですか。なお、統計上、大阪府では人口の約99.6%、京都府では約70.6%が琵琶湖を水源とする水を利用しており、これらの府県の下流域は、人口密度が1平方キロメートルあたり2,000人を超える非常に高い地域となっています。 (2022年 岩手県公立入試 類似)

1. 琵琶湖から流れる水は、人口密度が高い下流域の膨大な数の人々にとって、欠かせない生活用水となっているから。
2. 琵琶湖の水は滋賀県内のみで消費される仕組みになっており、下流の府県では農業用水としてのみ利用されているから。
3. 下流の大阪府や京都府は人口密度が低いいため、水の需要が少なく、水質が悪化しても社会的影響が小さいから。
4. 琵琶湖の水質が悪化すると、下流にある大阪湾の塩分濃度が急激に上昇し、漁業に深刻な被害が出るから。

問6 近畿地方の各府県を比較した統計分析において、人口規模や小売年間販売額が大阪府に次いで大きく、かつ県域が瀬戸内海から日本海にまで及ぶ広大な面積を持つことから、スキー場などの娯楽施設も充実しているという特徴を持つ府県はどこですか。 (2014年 兵庫公立入試 類似)

1. 兵庫県
2. 滋賀県
3. 京都府
4. 三重県

問7 近畿地方の人口移動に関する統計を分析すると、周辺の府県から特定の地域へ向けて、通勤や通学を目的とした大規模な人の動きが見られます。このように、京都府、兵庫県、奈良県といった近隣の県から多くの流入人口があることで、昼間人口が夜間人口を大きく上回っている、近畿地方の経済・文化の拠点となっている府県はどこですか。 (2018年 福岡県公立入試 類似)

1. 大阪府
2. 京都府
3. 兵庫県
4. 和歌山県

問8 京都府の形状と隣接する府県の配置から考える、この地域の地理的特徴を説明した次の文の空欄にあてはまる適切な語句の組み合わせを選びなさい。「京都府は南北に長い形状をしており、(X)側で隣接する兵庫県とともに、日本海に面した地域を有している。一方、南側では(Y)と隣接しており、内陸部から都市部にかけて多様な境界を形成している。」 (2016年 和歌山公立入試 類似)

1. X: 西 Y: 大阪府
2. X: 東 Y: 奈良県
3. X: 西 Y: 三重県
4. X: 北 Y: 滋賀県

答え合わせ・解説

問1	答え 1 古都の景観や国宝などの文化財を保護・活用することで、国内外から観光目的の来訪者が集まり、宿泊利用においても観光客の比率を高めている。	近畿地方の観光業は、豊富に存在する文化財が大きな付加価値を生んでいます。国宝や重要文化財が特定の地域に密集していることで、それ自体が目的となる観光ルートが形成されます。統計データにおいても、文化財が豊富な地域ほど、仕事（ビジネス）ではなく余暇や観光を目的として宿泊する人々の割合が高いことが示されており、歴史的資源の保存と観光産業の活性化が密接に結びついていることがわかります。これは、単に施設が多いということではなく、資源の質（歴史的価値）が滞在目的を規定している例といえます。
問2	答え 1 古くから商業の拠点として発展し、現在は阪神工業地帯の中核として多くの工場が集積しているため。	大阪府は歴史的に「天下の台所」と呼ばれる商業の中心地であり、その基盤をもとに製造業も大きく発展しました。狭い面積の中に多くの事業所や工場が集中し、兵庫県や京都府などの近隣府県と比較しても、単位面積あたりの生産性や人口密度が非常に高いという構造的な特色を持っています。
問3	答え 1 志摩半島	三重県側に位置し、伊勢湾の南端を形作っているのが志摩半島です。この地域は典型的な沈水海岸（リアス海岸）となっており、その穏やかな海域を活かした真珠の養殖は、三重県を代表する産業として全国的にも有名です。選択肢にある津軽半島は青森県、丹後半島は京都府、薩摩半島は鹿児島県に位置します。
問4	答え 1 北部に標高約900mに達する丹波高地や六甲山地があり、南部の大阪湾沿岸に向かって標高が低くなり平野が広がる形状	近畿地方の兵庫県北部から大阪湾にかけては、北側に丹波高地や六甲山地などの山地が位置しており、そこから南下するにつれて大阪平野へと標高が下がっていく地形的特徴があります。地形の断面図で見ると、北側に鋭い山頂が確認され、南側の海沿いに向かってなだらかに標高が低くなる形状を示します。
問5	答え 1 琵琶湖から流れる水は、人口密度が高い下流地域の膨大な数の人々にとって、欠かせない生活用水となっているから。	琵琶湖から流れ出る水は淀川などを通じて下流へと運ばれ、京都府南部や大阪府といった都市部の重要な水源となっています。提示された数値の通り、特に大阪府ではほぼ全ての住民が琵琶湖の水に依存しており、さらにこれらの地域は人口密度が極めて高い過密地域であるため、水質の悪化は非常に多くの人々の日常生活を脅かすこととなります。このため、上流に位置する滋賀県だけでなく、流域全体で水質を保全することが社会的に極めて重要な課題となっています。
問6	答え 1 兵庫県	兵庫県は、神戸市という大都市を抱えるため、近畿地方内では大阪府に次ぐ経済・人口規模を誇ります。その一方で、県域が本州を南北に貫き、瀬戸内海から日本海まで広がっているため、都市型の商業施設だけでなく、北部の山岳地帯におけるスキー場など、多様な自然環境を活かしたレジャー資源が統計上でも顕著に表れています。
問7	答え 1 大阪府	大阪府は近畿地方の中心的な都市機能を備えており、周辺の各府県と鉄道網などで強く結ばれています。そのため、仕事や通学のために近隣の県から日々多くの人々が移動してくる「流入人口」が多いのが特徴です。その結果、居住者数を示す夜間人口に比べて、日中に活動している昼間人口が非常に多くなり、地域の拠点としての役割を果たしています。
問8	答え 1 X：西 Y：大阪府	京都府の西側には兵庫県が隣接しており、両府県は日本海側の地域（山陰地方や北近畿と呼ばれる地域）において境界を接しています。また、京都府の南側は大阪府や奈良県と接しており、特に大阪府側は淀川沿いや北摂山系を通じて都市機能が連続しています。このように、京都府は北の福井県から西の兵庫県、南の大阪府、奈良県、東の滋賀県、三重県と、非常に多くの隣接府県に囲まれた交通の要衝としての背景を持っています。